4. 歴　史（運　動）

ろうあ連盟結成の地から未来への提言を語る

第 63 回全国ろうあ者大会が開催される地、群馬県は、戦後間もない 1947（昭和 22）年、汽車に乗るのも大変な時に、また食料の乏しい中をお米持参で全国各地から伊香保温泉にろう者が集った記念すべき地です。

2017（平成 29）年に連盟創立 70 周年を迎えるにあたり、「創立 70 周年記念事業準備委員会」は記念誌の刊行、記念碑の建立、記念映画の制作・上映、記念大会の開催の４本柱で進めています。そのうち「記念碑」については、木暮旅館（現「ホテル木暮」）と渋川市の二ヵ所に、多くの関係者のご厚意とご支援のおかげで、今大会に合わせてお披露目することになりました。

伊香保から始まり、脈々と受け継がれてきた「ろうあ運動」が成し遂げてきた歴史を再度確認し、新たな「ろうあ運動」につなげていくために私たちが為すべきことは何か学んでいきましょう。

◆総合司会：一般財団法人全日本ろうあ連盟 理事　組織委員会 委員長　山根　昭治

◆秘蔵映像・動画で見える歴史の一コマ

◆トリプル講演

テーマ：「全日本ろうあ連盟結成大会をめぐる調査からわかったこと」
講　師：関東ろう連盟　　前理事
「関東ろう運動 60 年のあゆみ」編集委員会 委員長　　飯島　康夫

テーマ：「50 年史編纂の中で見えた復権への取り組みの歴史」
講　師：一般財団法人全日本ろうあ連盟　参与
全日本ろうあ連盟「50 年のあゆみ」編集委員会 委員長　松本　晶行

テーマ：「ろうあ運動の過去・現在・未来」
講　師：一般財団法人全日本ろうあ連盟　理事長　　石野 富志三郎

◆パネルディスカッション

テーマ　：「ろうあ連盟結成の地から未来への提言を語る」
コーディネーター：連盟創立 70 周年記念事業準備委員会 委員長　長谷川　芳弘
パネラー：一般財団法人全日本ろうあ連盟　理事長　　石野 富志三郎
一般財団法人全日本ろうあ連盟　参 与　　松本　晶行
関東ろう連盟　　前理事　　飯島　康夫